

2024年11月15日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

J A山形おきたまは、農業の振興によって置賜の大地を守り、組合員の創造と参画による魅力ある事業の展開によって地域社会に貢献することを経営理念として掲げております。

当組合では、この理念のもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成および「ひと・いえ・くるま・農業の総合保障」の提供を通じた安心・安全な地域社会づくりに貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することができる統一的な指標」（「比較可能な共通K P I」）も同時に公表いたします。

注）共済事業は、当J Aと全国共済農業協同組合連合会（以下、J A共済連）が共同で事業運営しております。

山形おきたま農業協同組合

I.取組状況

1 組合員・利用者への最適な商品提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)原則3(注)、原則6本文および(注2、3)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズを最優先に選定します。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2024年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末:1)	6 (前年度末:3)
株式型	3 (前年度末:3)	5 (前年度末:5)
REIT型	1 (前年度末:2)	3 (前年度末:3)
バランス型	8 (前年度末:8)	

<商品選定の考え方>

※セレクトファンドの主な選定基準は以下のとおりです。

- 将来の備えに向けて、「長期投資」を前提とした投資信託であること(特定の投資テーマがある、いわゆる「テーマ型投信」など長期投資に向いていない商品ではないこと。なお、テーマ型投信であるかはJAバンクが判定)
- 過去の運用実績が相対的に良好であること(長期投資の観点から、主に投資効率が良い商品であるかをJAバンクが評価)
- 過去の運用成績の再現性が認められること(「過去の運用成績を今後も再現すると期待できるか」、といった点を踏まえ、投資信託の専門評価会社である野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社の協力を得て評価)
- 手数料が良心的な水準であること(投資信託の費用の一つである「信託報酬」が各商品と同じような分類の商品と比較して著しく高くないことをJAバンクが評価)
- これから将来に向けて資産を築いていく資産形成層に向け、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

I.取組状況

1 組合員・利用者への最適な商品提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)原則3(注)、原則6本文および(注2、3)】

- 当組合は、「ひと・いえ・くるま・農業の総合保障」を通じた安全・安心な地域づくりに貢献するため、最良・最適な共済仕組み・サービスを提供しております。
- 市場リスクを有する共済仕組み(例：外貨建て共済)は提供しておりません。
- J A 共済満足度調査において、令和5年度活動実績における総合満足度は「95.8%」となっており、高水準を維持しております。

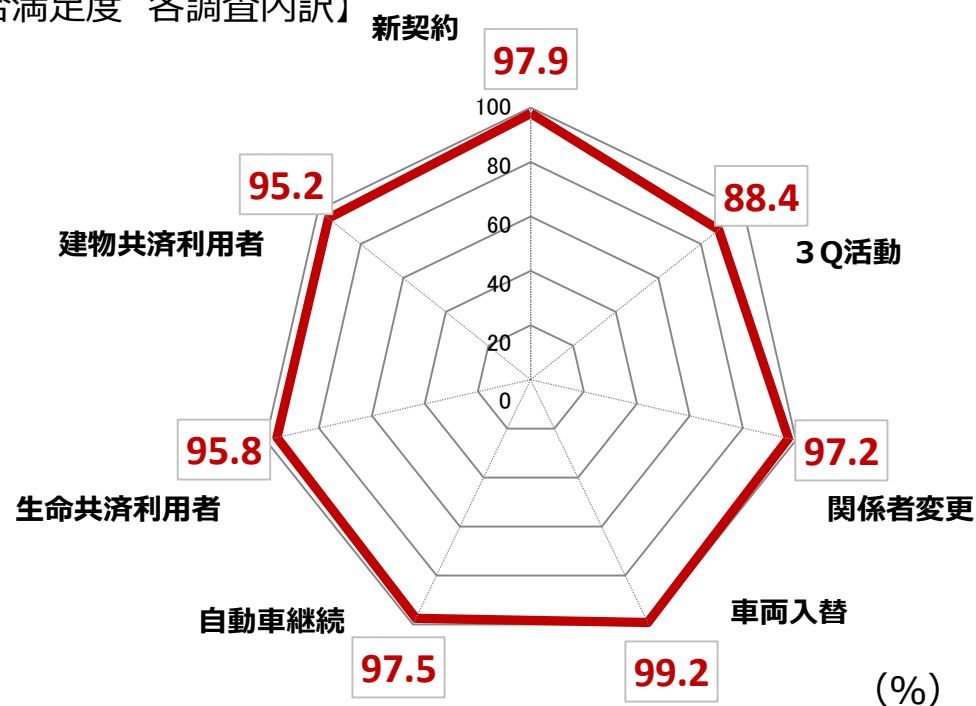
総合満足度

95.8%

※総合満足度
JA共済全般に対する満足度

※総合満足度は、6段階評価で
「とても満足+満足+やや満足」の割合

【総合満足度 各調査内訳】



I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

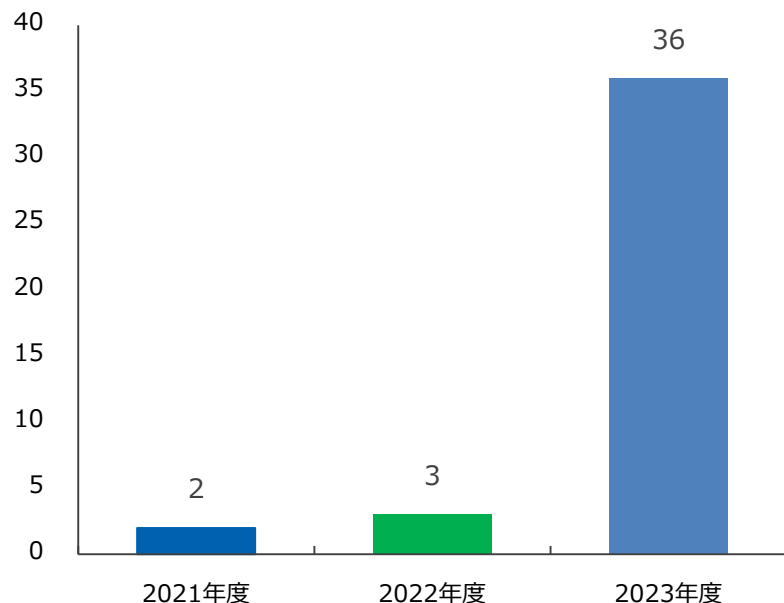
【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、
原則6本文および(注1、2、4、5)】

(1) 信用の事業活動

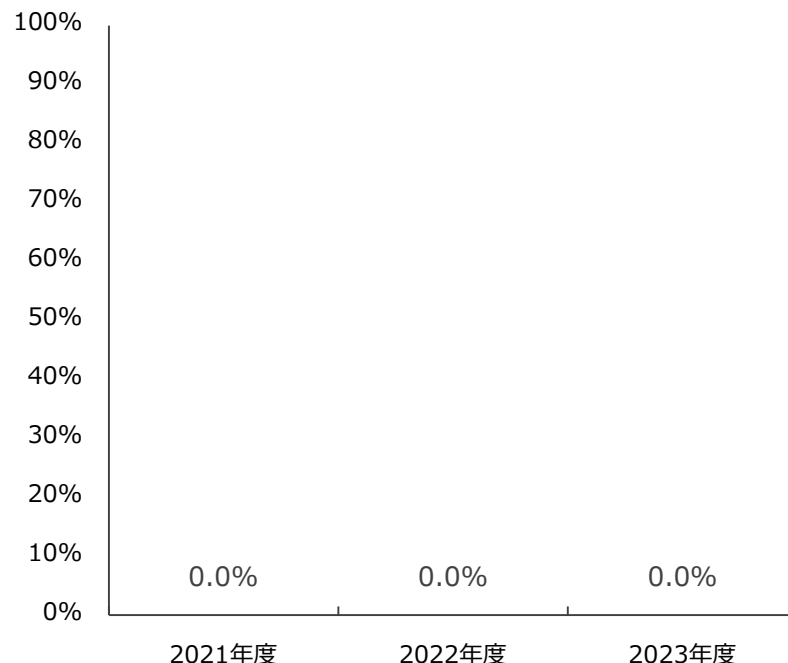
- 組合員・利用者の皆様に安定的な運用成果をご享受いただくために、組合員・利用者の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が増加し、「毎月分配型ファンド」を選択されるお客さまはおりませんでした。

<投信つみたて契約件数の推移>

(件)



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



I. 取組状況

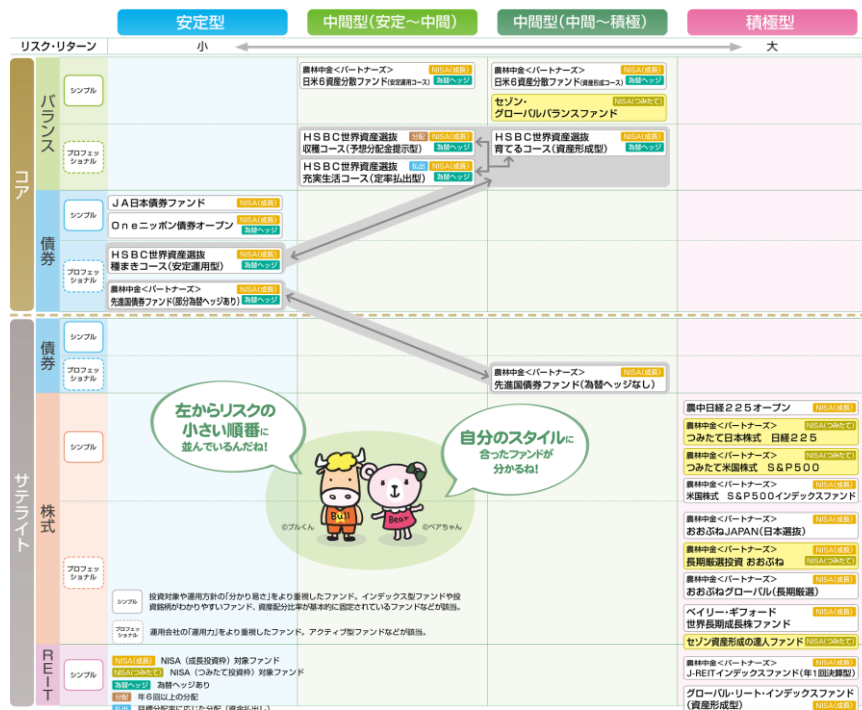
2 組合員利用者本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

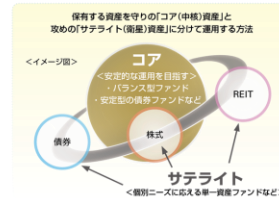
(1) 信用の事業活動

- 組合員・利用者の皆様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、JAバンクセレクトファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。

JAバンク セレクトファンドマップ



コア・サテライト戦略について



JAバンクのセレクトファンド

JAバンクのセレクトファンドは、国内の約6,000本の中から、JAバンクが独自の基準で長期投資に適した投資信託を厳選しました。

主な選定基準等

- 1 長期投資 長期投資を前提とした投資信託であること
- 2 手数料 手数料が良心的な水準であること
- 3 運用実績 過去の運用実績が相対的に良好であること
- 4 将来性 資産形成には、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと
- 5 運用体制 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

お客様の長期投資にとって最善の提案を目指し、投資信託を厳選しているんだね!

「投資信託説明書（交付目録見直し）」のご請求、お申し込みは

商号等 山形おきたま農業協同組合
登録金融機関 東北財務局長（登録）第152号

I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

(2) 共済の事業活動 【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1・2・4・5)】

①共済仕組み・サービスの提案

・お客様一人ひとりのご意向に基づき、保障設計書や保障見直し設計書などを用いて、最良・最適な共済仕組み・サービスを提案しております。

・共済仕組み・サービスを提案にあたっては、重要事項説明（契約概要・注意喚起）を実施し、特にご確認いただきたい事項や不利益情報を分かりやすくご説明しております。

②情報提供

・情報提供にあたっては、重要事項説明書（契約概要・注意喚起情報）を説明・交付を実施し、分かりやすく説明しております。

・公的保険制度等について、チラシなど説明資材を用いながら、情報提供を実施しております。

③契約締結時の対応

・お申込みいただくことが決まった際には、意向確認書（意向確認画面）を通じてご提案した共済仕組み・サービスがお客様一人ひとりのご意向に沿ったものであるか確認しております。

④高齢者対応

・ご高齢のお客さまについては、ご家族も含め十分ご納得、ご満足いただけるよう、提案説明時、契約締結時にご家族の方の同席依頼や電話による確認などを実践し、より丁寧な対応を行っております。

⑤各種手続きとアフターフォローの実施

・お客さまに対して共済金等の請求勧奨や各種サービスの提供など、日々の普及活動を通じてより安心・満足いただけるようお客さまに寄り添った取組みを実践しております。

・保障の加入にあたり、共済掛金の他にお客さまにご負担いただく手数料等はございません。

I .取組状況

3 利益相反の適切な管理【原則3本文および（注）】

・当組合では、お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。

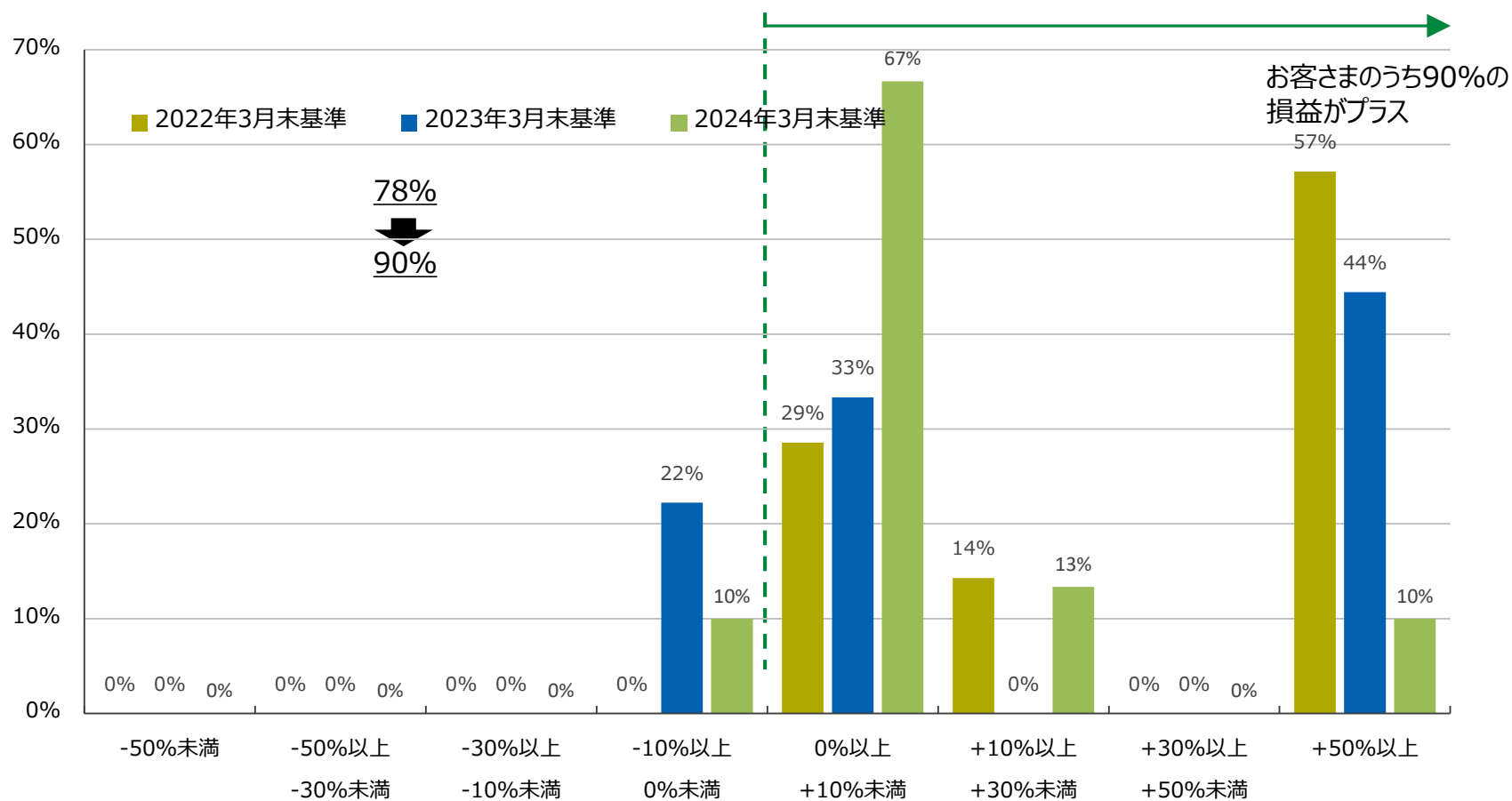
4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

・当組合は、高度な専門性を有し、誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築するため、当組合の教育研修計画に基づき、JA系統の県域研修や通信教育講座の受講、資格取得の支援を行っております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点では全体の90%のお客さまの損益がプラスとなりました。

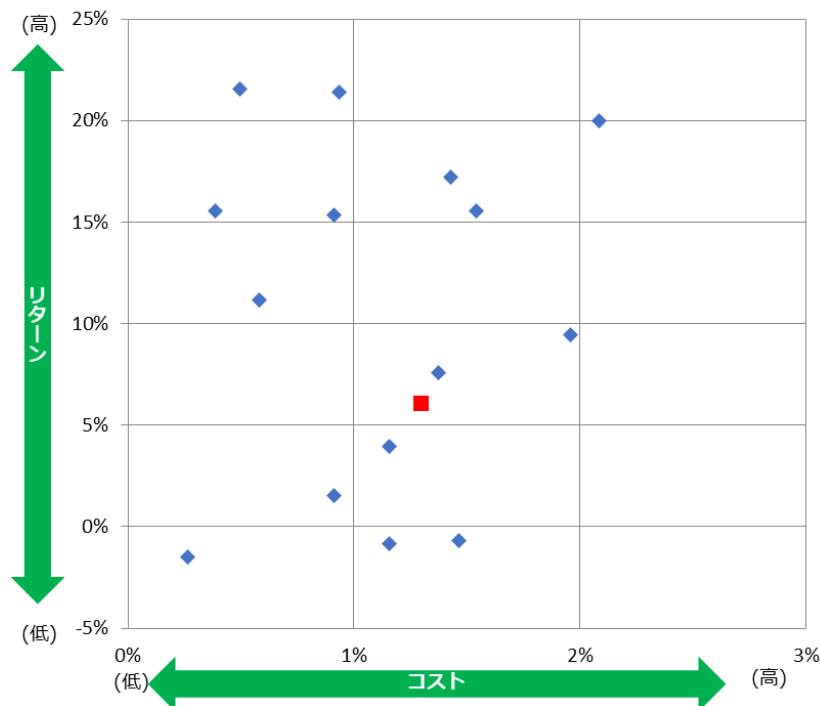


Ⅱ.比較可能な共通K P I

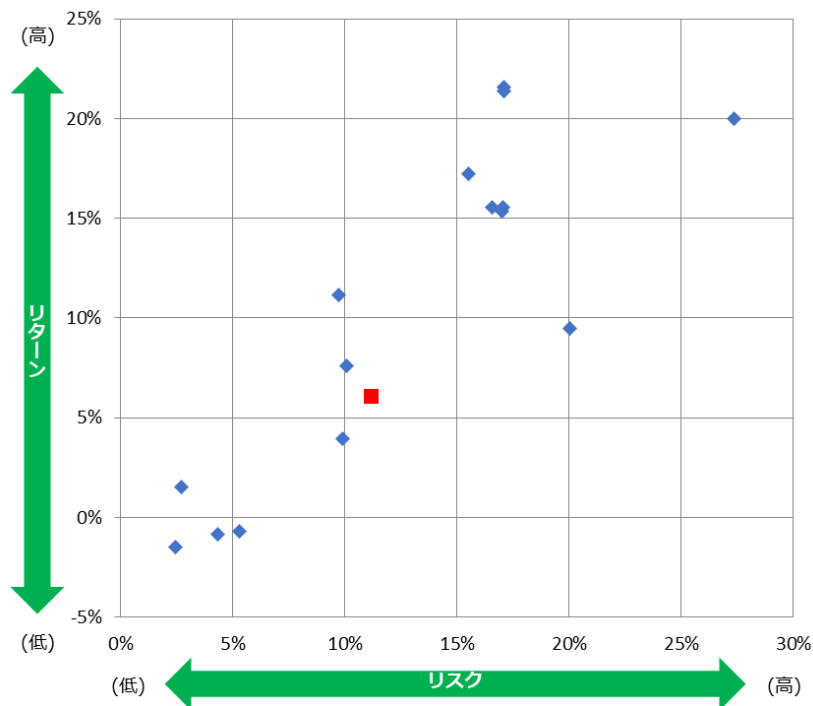
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2024年3月末)

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.30%、平均リスク11.17%に対して、平均リターンは6.07%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



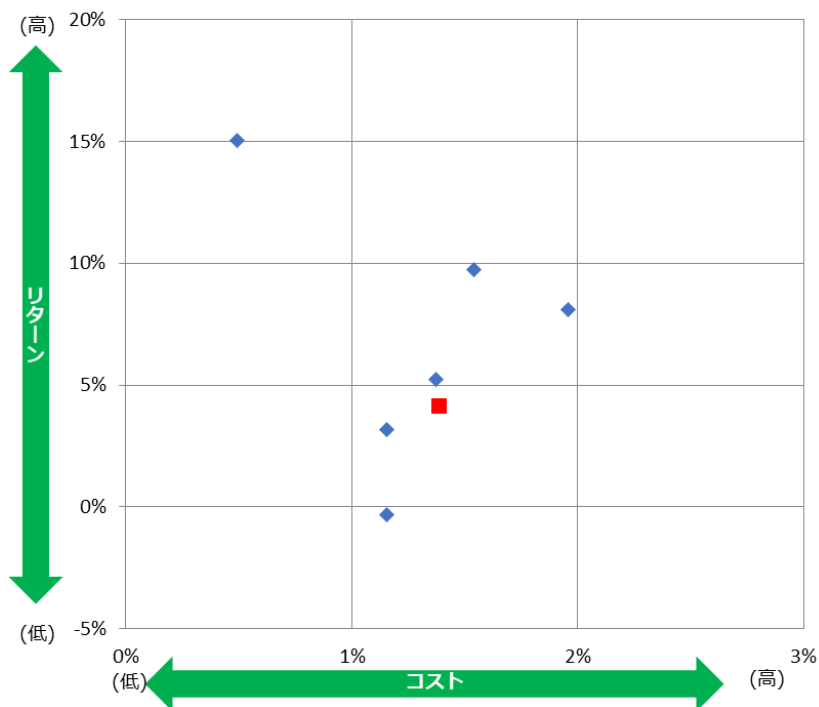
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

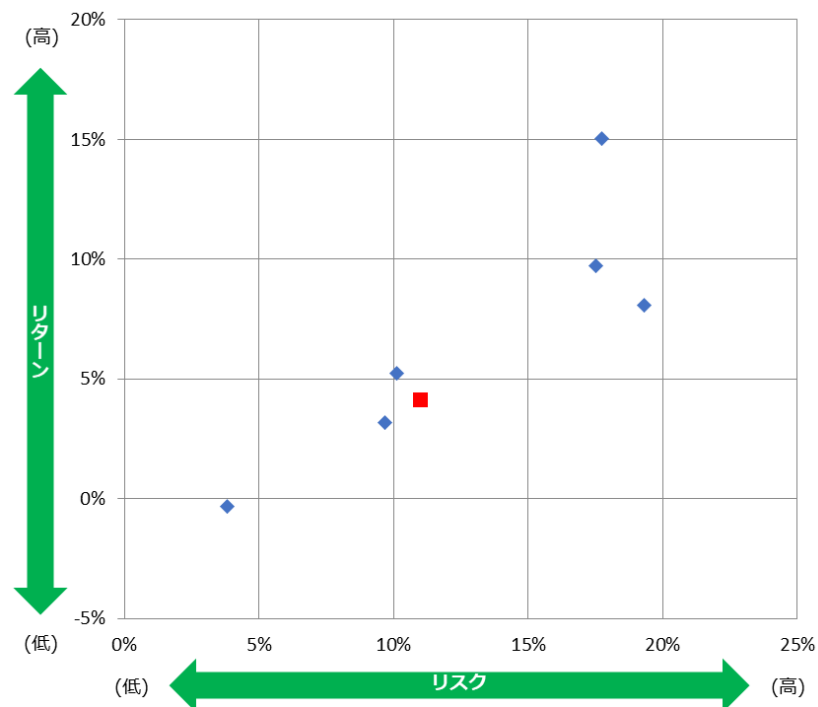
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2023年3月末)

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.39%、平均リスク11.01%に対して、平均リターンは4.14%となりました。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



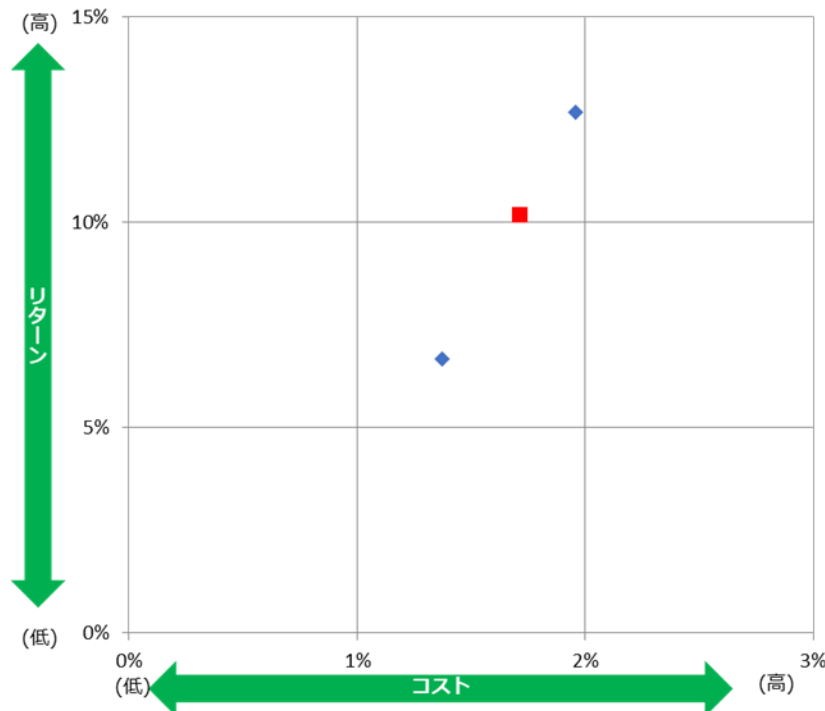
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

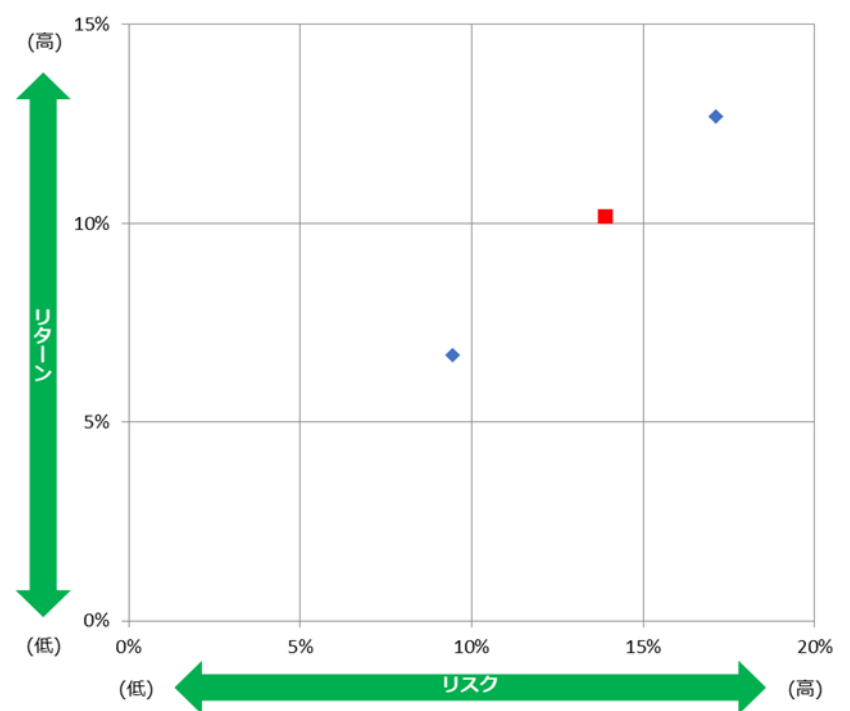
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.71%、平均リスク13.91%に対して、平均リターンは10.18%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド [※] (資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.16%	9.68%	1.16%
2	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.48%	15.74%	1.43%
3	日米6資産分散ファンド [※] (安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.34%	3.81%	1.16%
4	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
5	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
6	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.26%	17.10%	0.39%
7	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
8	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.73%	17.50%	1.54%
9	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.72%	2.06%	0.26%
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		7.35%	12.44%	1.06%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は9本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	8.09%	19.30%	1.96%
2	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
3	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.34%	3.81%	1.16%
4	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.16%	9.68%	1.16%
5	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	5.23%	10.14%	1.38%
6	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.73%	17.50%	1.54%
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		4.14%	11.01%	1.39%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は6本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	12.69%	17.12%	1.96%
2	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	6.67%	9.44%	1.38%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		10.18%	13.91%	1.71%

※ 2022年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は2本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。